

とらじんまろ SSKA 秋

No.219・2017 10.15

おもな記事

- 特集 2018年度都庁予算要請・都議会各党ヒアリング 1
にこにこナース通信 12
活動のまど 15
施設紹介(平山城址腎クリニック) 20



伊勢佐木町通り

 **特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会
(NPO 東腎協)**

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556
<http://www.toujin.jp/> E-mail info@toujin.jp



来賓の皆様



会員拡大表彰・織本病院腎友会



真剣に聞く参加者



広域災害についてのディスカッション



抽選会当選者とプレゼンター

2017年9月10日(日) 一般財団法人 主婦会館

東腎協結成45周年第7回記念大会



会員拡大表彰・清湘会記念病院腎友会



30年長期透析者表彰



真剣に聞く参加者



AEDを操作する梅原会長



心臓マッサージの実演講習

都庁予算要請

都議会各党ヒアリング



都庁予算要請をする東腎協役員

2018年度●東腎協

9月5日(火) 午後1時30分より午後3時まで、都庁第一本庁舎26階26A会議室において2018年度の予算要請を行いました。

都議会ヒアリングは、8月3日(木)に都民ファーストの会東京都議団、都議会公明党とのヒアリングを行い、次いで9月7日(木)に、都議会自民党、都議会民進党、日本共産党東京都議団の各党とヒアリングを行い、東京都予算要請事項の説明と要望を行いました。

予算要請項目は大項目8項目、さらに14の小項目で構成されています。本誌に特集として全文掲載しておりますのでご覧ください。

東京都予算要請には、東腎協から行政委員会の梅原、榎原、住安、三好、古暮、中野、板橋、工藤の8人の理事が参加しました。東京都は福祉保健局、産業労働局、教育庁の3部局から、疾病対策課、

医療助成課、就業推進課、医療政策課、医療安全課、施設サービス支援課、介護保険課、施設支援課、健康推進課、企画政策課の各担当者から回答をいただきました。

大きな成果としては、当然ですが、「予算要請項目の①の心身障

害者(児)医療費助成制度(マル障)、難病医療費助成制度(マル都)、心身障害者福祉手当について」来年度も現行の制度を維持、継続する旨回答を得ました。

しかし、新規65歳以上で障害者となり障害者手帳を取得した方の

特集 2018年度 都庁予算要請

／都議会各党ヒアリング…………… 1

なかまのたより…………… 8

リレーエッセイ……………松本 茂利 11

ニコニコナース通信④…持田美佐子 12

私と東腎協②①……………清水 猛 14

活動のまど……………15

施設紹介⑭

医療法人社団 心施会

平山城址腎クリニック……………20

事務局から…………… 23

年齢制限の廃止を要請しましたが、平成12年8月改正にて、介護保険制度との整合性を図るため、65歳以上で障害者になった方を制度の対象外にしており、今回も本制度から対象外とされました。引き続き新規65歳以上の年齢制限廃止を要請していきます。

そのためには、東腎協の会員を拡大して「組織力」を高めなければいけません。患者さんの更なるご協力をお願い申し上げます。

「腎疾患総合対策の確立」のため、今後とも粘り強く要請していきます。

マル都・マル障は 2018年度も継続

各種医療費助成制度等の 維持継続について

要請事項① 医療費助成制度の堅持継続をして下さい。

心身障害者（児）医療費助成制度②・難病医療費等助成制度③・心身障害者福祉手当を国の動向にかかわらず堅持継続して下さい。

回答 福祉保健局／保健政策部
疾病対策課 疾病対策担当／障害者施策推進部 施設サービス支援課 調整担当／保健政策部 医療助成課 助成担当

心身障害者医療費助成制度は、重度心身障害者の医療の困難性とその経済的な負担が大きいことに着目して医療費の公費助成を行っており、重度の身体障害者、知的障害者の方を対象として実施しております。東京都では、平成12年度に行った福祉政策の見直しにおいて、限られた資源を緊急性、必要性の高いサービスに重点的に配分するために、「負担の公平性」制度間の整合性」などの観点から経済的給付事業の見直しを行い、その中で65歳以上の障害者の方は、高齢者施策で対応することを原則としました。

マル障制度におきましては、平成12年9月の改正に於いて、65歳以上で新たに障害者となり手帳を取得された方につきましては、当時の老人保健制度、現在の後期高齢者医療制度に加入されると、負担が軽減されることから、本制度の対象外としました。現行の制度を継続していきたいと考えており

ます。

難病医療制度助成制度については、東京都では「人工透析を必要とする腎不全」につきましては、特殊な医療技術の管理のもとで、長期の療養を余儀なくされるため、多額の医療費を必要とすることから特殊医療助成と致しまして、患者の方に、医療保険各法を適用した医療費の自己負担分の内、入院外来ごとに一医療機関当たり月額一万円を限度に助成を行っているところとす。また、平成27年1月に難病法が成立したことに伴いまして国の新たな難病医療費助成制度が実施されており、今年の4月の現段階で330疾病が国の制度の対象となっておりありますが、この対象疾病の拡大により都独自の難病医療費助成の対象から国の難病疾病に移行した疾病もございます。腎臓病関係の難病では「ネフローゼ症候群」「多発性嚢胞腎」が国の指定難病に移行しているところがございます。こうした動きの中で、東京都独自の難病医療費助成制度については、国制度の整合性を図ったうえで助成の継続をするとともに、制度改正前から都独自の助成を受けている方につきまし

ては、国の制度に準じて経過措置を設けているところでもあります。移植対策として人工透析療法を受けている慢性腎不全の方で、献腎移植を希望する方に、日本臓器移植ネットワークに移植希望の登録をする方に対して、「腎臓移植組織適合性検査費」のうち一部を助成する事業を実施いたしまして、患者さんの負担軽減を図っているところとす。

要請項目② 新規65歳以上の障害者も対象にして下さい。

心身障害者（児）医療費助成制度④、心身障害者福祉手当制度は、新規適用は65歳未満が対象となっておりますが、新規65歳以上の年齢制限を廃止して下さい。

回答 福祉保健局 障害者施策推進部 施設サービス支援課 調整課／保健政策部 医療助成課 助成担当

心身障害者福祉手当につきましては、平成12年8月の改正にて、介護保険制度との整合性を図るため、65歳以上で障害者になった方を制度の対象外としており、現時点での支給要件を見直しすること

等を考えておりません。所得補償については、基本的に国の役割であり、都は、年金手当を一層充実すべきと、他の自治体と連携して、国に要望しているところであります。

要介護透析者への支援強化について

要請項目③ 要介護者の移送助成を強化促進して下さい。

高齢化や合併症により要介護透析者の通院支援の必要性は高まっています。自宅のベッドから透析施設のベッドへ、また特に透析後施設のベッドから自宅のベッドへの移送は介護者なしには身動き出来ない状態の患者が増えています。介護者付移送業者の参入機会増加、及び介護付移送拡充のための優遇制度の具体化、及び公費助成によるリフト付き送迎車両の普及が進むようにして下さい

回答 福祉保健局／保健政策部
疾病対策課 疾病対策担当／保健政策 医療助成課 介護保険担当

通院送迎対策の実施につきましては、人工透析を必要とする疾病以外の疾病患者との公平性の観点から、極めて困難であると考えているところで、よって都の医療費助成制度としてこちらについて実施することは考えておりません。

介護保険法では、自宅と透析施設の移送については、訪問介護に於ける通院等のための乗車または降車の介助として認められています。透析施設等の病院内における介助が認められている場合につきましては、平成22年4月28日付けの厚生労働省の老健局振興課事務連絡によりまして、区市町村が判断する事とされています。

要請項目④ 透析医療施設と併設の介護施設を増やして下さい。

透析患者の中で高齢の方ほど自力通院の比率が下がります。今後高齢化は進み通院問題は深刻化しますが、増加する介護の必要な透析患者の老後対策として、透析医療施設と併設の介護施設を増やす施策を構築して下さい。

回答 福祉保健局／高齢社会対策

部 施設支援課 施設運営担当

東京都は、高齢者ができる限り住み慣れた地域で日常生活を継続できるよう、適切な医療、介護、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指しています。

介護サービスの基盤整備については、「介護老人保健施設」「特別養護老人ホーム」「認知症高齢者グループホーム」等のサービスの質の向上を図るとともに区市町村と連携し、整備が進んでいない地域での設置を促進するなど、地域偏在の緩和・解消と東京都全体の整備水準の向上を図っていきます。

要請項目⑤ 療養病床増床計画をさらに推進して下さい。

国の一般病床特定除外制度廃止により、高齢の透析患者の長期入院の受け皿が不足しています。療養病床確保のため東京都が進める療養病床増床計画を引き続き推進して下さい。

回答 福祉保健局／医療政策部
医療政策課 地域医療対策担当
東京都は、これまで医療療養病床の整備に必要な改築、改修経費

の負担軽減策として、都独自に施設整備費補助を行ってまいりました。また、医療療養病床への転換後の経営上の不安解消策として、医療コンサルティングの専門家による支援を実施してきました。現在、平成28年度に策定しました東京都地域医療構想というのがあります。2025年に団塊世代のすべての方々が「後期高齢者」75歳以上になったときを想定して、必要な病床数を策定したものです。全体の病床数を、「高度急性期」「急性期」「回復期」「慢性期」「在宅医療」と必要量を設けたものです。今後、東京都はその実現に向けて病床の整備を行っていく事としております。現在、回復期の病床数が非常に不足していることが想定されており、これからは回復期の病床の整備に当たっていく考えであります。

今後も、都独自の整備補助や経営面からの支援などを通じて、必要な病床数の確保をしていく事を考えております。

要請項目⑥ 腎臓病患者介護に関する、研修、認定等の制度を設けて下さい。

要介護透析者にとってケアマネジャー及びヘルパーの方々が腎臓病患者の飲食等生活に関する注意事項を理解していることが強く求められます。東京都は腎臓病関連医師団体等と連携してケアマネジャーに対する腎臓病患者介護に関する研修、認定等の制度を設け、透析者が安心して介護を受けられる様にして下さい。

回答 福祉保健局／高齢社会対策部 介護保険課 介護保険担当

東京都は、平成28年度から介護支援専門員の法定研修のカリキュラムが見直されておりまして、資格登録時に受講する研修におきまして、腎臓病の特性や留意点について講義を行う事となっております。都は、その研修が適切に実施されるよう対応しています。

CKD(慢性腎臓病)への取り組みについて

要請項目⑦ CKD予防キャンペーンの予算化をして下さい。

1300万人以上ともいわれるCKD患者の方々が透析を受ける状態に陥らないためにも、東京都が推進しているCKDの予防キャンペーンの予算化および透析患者の体験発表の機会を今以上作って下さい。糖尿病性腎症からの透析に至った経緯の体験談は生活習慣改善の大きな一助になると考えられます。また長期的な意味での予防の為に、都内の小学生の時期から透析治療について盛り込んだ教育をして下さい。

回答 福祉保健局／保健政策部 疾病対策課 疾病対策推進担当／保健政策部 健康推進課／教育庁

東京都は、これまで慢性腎臓病対策として、ウェブサイト「ほっとけなぞ」CKDを運営するとともに、地域の掛かり付け医を対象とした研修会・講演会等を実施してまいりました。また、昨年度は掛かり付け医、患者さん向けのリーフレットの作成・配布などをして、「早期発見」「早期治療」の推進に努めてまいりました。今後とも、CKDに対する、基本知識

の普及を図り「早期発見」「重症化予防」に努めて参ります。

ご要望の解答には、前向きな回答が難しいところではありますが、要望は真摯に受け止めてさせて頂きます。

要請項目⑧「腎臓病を考える都民の集い」の支援強化をして下さい。

「第29回腎臓病を考える都民の集い」は2018年3月11日(日)東京都と共催で開催を予定しています。この間の成功には、東京都の広報の効果が多く認められています。東京都民、患者およびその関係の方々に一層のアピールができますように、従来からの広報に加え更なる電波媒体の使用も含めた一層の広報活動強化をお願いします。また引き続き東京都の施設を会場として使用させて頂き、ともに経済的支援も考えた費用の予算化をして下さい。

回答 福祉保健局／保健政策部 疾病対策課 疾病対策推進担当

「腎臓を考える都民の集い」の開催にあたりまして、東京都は毎

年、東京腎臓病協議会と協定書を結び、役割分担を定めているところでございます。この協定に基づいて、東京都は「広報東京都」「ホームページ」に開催掲載の案内をするとともにラジオ番組でも周知を行っております。また昨年度は初めての試みとして区市町村や都の保健所にポスターやチラシを配布して広く周知に努めて参りました。

今年度は、都庁内の会議室ですが30年3月11日(日)に開催するという事で予約を行っているところです。今後でもできる限りご協力をさせていただきたいと考えております。さらにこの大会場の使用につきまして、予約状況がございましたら、必ずしもご希望の日にお取りできるかという事はお約束できないことをご承知おき頂きたいと思っております。

腎臓病患者の救急医療について

要請項目⑨ 人工透析可能な救急医療体制の整備と強化をして下さい

慢性腎臓病（CKD）に起因する、心血管系疾患や人工透析による心筋梗塞や脳血管系疾患等の病状急変に備えて、人工透析可能な救急医療体制の整備と強化をして下さい。

回答 福祉保健局／医療政策部
医療政策課 救急医療担当

東京都では、心血管系疾患や心筋梗塞、脳血管系疾患等の病状急変があつた場合に於いては、いつでも、どこでも、だれでも、その症状に応じた適切な医療が受けられるよう、保健医療計画が定められています。その状況に応じた救急医療体制の整備に努めていくこととしています。

透析医療の安全について

要望項目⑩ 透析医療の安全について行政指導を強化して下さい

患者本位の医療を目指し、透析医療スタッフの充実、透析医療ミスや医療事故防止と感染症対策の行政指導を強化して下さい。

回答 福祉保健局／医療政策部
医療安全課 指導調整担当

東京都は病院に対して、医療従事者数の確保等医療法の遵守及び医療安全管理体制の整備について、定期的な立ち入り検査で助言・指導を行い、医療安全対策の充実を図っています。

透析医療を行っている病院に対しては、「透析医療における適切な管理」を検査項目として、透析操作に関するマニュアルが整備されている事及びマニュアルの内容や遵守状況について医療従事者から聞き取りや病棟ラウンドによって確認し必要に応じて指導を行っています。

死亡等重大な医療事故の発生について、病院から報告や連絡があつた場合は、速やかに立ち入り検査を行っています。その際は事故発生時の状況、原因分析、事故発生後の病院の対応、再発防止策等が適切かつ組織的に行われているか検査をして、医療安全確保の取り組みの更なる強化について助言・指導を行っています。

感染防止対策については、重点検査項目を設けて指導を強化しています。また、使用器材の処理方

法、清潔区域に於ける注射準備等について病院内をラウンドして担当者に助言・指導しております。引き続き透析医療の安全確保及び感染予防対策について、医療法に基づく立ち入り検査によって適切な指導を行っていきます。

透析患者への 大災害対策について

要望項目⑪ 確実な透析患者の情報取得手段を明示して下さい

大災害発生時は自助、共助と言われておりますが、透析患者は前回の透析から今回の透析まで5日程度が限界となります。災害発生時、東京30,000名超の透析者のうち5,000名程度の患者が透析難民になると言われます。透析患者一人一人の関心事は、具体的なものです。透析患者は災害時に自分の透析施設での透析の可否、透析施設までの通院の可否など、その時の情報の入手方法、信頼できる情報を必要としています。東

京都は災害時における「透析医療活動マニュアル」を作成して、透析難民に対する災害時の情報ネットワークの構築や透析患者の心得を説明していますが、その時、確実な情報、透析可能な施設、そこへの通院の可否と手段、そして女性、子供などへの特別な措置等の情報取得をできるようにして下さい。

回答 福祉保健局／保健政策部
疾病対策課 疾病対策担当

災害時におきまして、確実な情報が必要な方に届けることについては非常に重要な事であり、区市町村によつては、東京都の作成した「災害時における透析医療活動マニュアル」や「災害時透析患者カード」の内容を参考に災害時の透析患者の方の支援の指針等を策定しています。引き続き透析患者が避難所で必要な情報を取得できるようにその重要性について、区市町村に周知してまいります。

再生医療と 臓器移植について

要望項目⑫ 再生医療の研究
を推進して下さい

機能が低下すると回復しない
腎臓病にとって最近研究の
進んでいる再生医療は希望の
星であります。若い世代の患
者の為にも早く良い成果を期
待しますので、東京都もさら
に再生医療の研究を推進して
下さい。

回答 福祉保健局／総務部 企画
政策課 事業推進担当／保健政策
部 疾病対策課 疾病対策担当／
保健政策部 疾病対策課 疾病対
策推進担当／保健政策部 疾病対
策課 献血移植対策担当

東京都医学総合研究所におきま
して、再生医療の研究をしている
ところですが、平成28年度から再
生医療の基礎研究に着手したとい
う事で情報をいただいていること
ろです。

要望項目⑬ 「臓器移植キャン
ペーン」へのご協力をお願い
いたします

「第37回臓器移植推進キャ
ンペーン」を本年10月1日
(日)に上野恩賜公園と井の頭

恩賜公園で行います。共催と
言う立場から、より一層の東
京都のご協力をお願いします。
また、10月22日(日)に銀座
で行われます「臓器移植推進
グリーンリボンパレード」に
後援、ご協力をお願いいたし
ます。

回答 福祉保健局／保健政策部
疾病対策課 献血移植対策担当

今年は臓器移植法施行20周年目
の節目の年となっております。東
京都としても「臓器移植推進キャ
ンペーン」の共催者として、東京
腎臓病協議会と連携を図りながら、
臓器提供意思表示カードの作成や
配布、各種広報媒体の活用、区市
町村や保健所、東京都臓器移植コ
ーディネーターを通じた啓発等、
意思表示の定着に向けた普及啓発
に努めていきます。

また、10月22日の「臓器移植推
進グリーンリボンパレード」につ
いては、後援という形でご協力を
させていただきます。

就労支援について

8月3日(木)	9月7日(木)
10時20分～10時40分 都民ファーストの会東京都議団 都議会議事堂2階 第二会議室	10時～10時50分 日本共産党東京都議団 都議会南側6階 第一控室
13時～13時30分 都議会公明党 都議会議事堂2階 第三談話室	11時～11時20分 都議会民進党 議会棟4階 第13委員会室
	13時40分～14時 東京都議会自由民主党 都議会議事堂2階 第二会議室

都議会各党ヒアリング

2017年8月3日(木)
9月7日(木)

都議会各党とのヒアリングは、
別表の通り二日間で行い、東腎協
からは、8月3日(木)は、田崎
委員長、榊原、梅原、村門、三好、
中野、板橋、工藤の理事8名が参
加しました。

9月7日(木)のヒアリングに
は、梅原、榊原、酒井、三好、住
安、古暮、板橋、工藤の理事8名
が参加しました。

各党ヒアリングでは東腎協から
「福祉手当の新規適用65歳以上の
年齢制限廃止」「各種医療費助成
制度の維持継続」「高齢化に伴う
通院移送問題」「社会貢献活動で
あるCKDへの取り組み」「透析
患者への大災害時の情報取得」等
を大きな重点項目として予算要請
項目の説明をいたしました。

各党とも、熱心に、真剣に要請
内容に質問してきました。特に
「療養病床増床計画の実態状況」

透析患者をはじめ内部障害者の社会参加に向けて、雇用環境整備の確保を継続・推進して下さい。

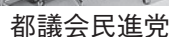
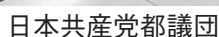
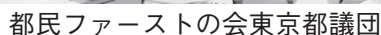
腎機能障害者の方をはじめ内部障害者の方々については、雇用管理上の配慮事項として、勤務時間等の配慮が必要と聞いております。産業労働局では、このような雇用上の配慮事項や障害者雇用制度、支援機関等を紹介した事業主向けの「障害者雇用促進ハンドブック」の作成をしております。障害者雇用の理解、促進を進めるため、今年度も30,000部のハンドブックを作成しまして、障害者雇用の普及啓発のためハローワーク、区市町村就労支援機関、企業等に配布しております。

また、今年7月28日に福祉保健局、国の機関である東京労働局と連携いたしました、中小企業のための「障害者雇用支援フェア」というイベントを開催しまして「障

さらに今年度、新たに「東京都難病・がん患者就労支援奨励金」というものを創設しました。これは東京都独自の助成金として、難病やがん患者の方の治療と仕事の両立に向けて積極的に取り組む企業を支援するための奨励金になります。この奨励金には要件がありまして「六カ月以上雇用継続している方」それから「週の所定労働時間が10時間以上」であること、そうした方の難病やがん患者を雇用した場合に1人につき40万から60万円の奨励金が支給されるものです。

それから「雇用継続助成金」というものを作りました。こちらは「復職支援」のための助成金になります。1人当たり30万円の支給を考えております。

今年度も引き続き企業向け普及啓発セミナーなどの機会を通じて雇用環境整備の重要性を企業の方に理解して頂くよう努めて参ります。

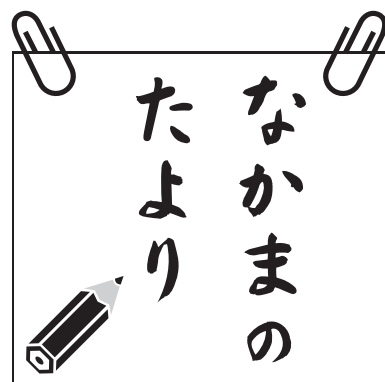


「透析患者の透析導入年齢、患者の平均年齢」

「首都直下大災害時透析患者難民5000人想定」

「介護施設で透析可能な所は何処なのか」等の質問がありました。

今年の都議選で各会派の勢力図が変わりました。今後4年間を革新の年と捉えて、日常的に懇談要請をしていきたいと思えます。



喜寿を迎えて

篠田喜代
(個人会員)

敬老の日に区より「祝長寿」と喜寿のお祝いをいただきました。私も長寿者の仲間入りか、と感慨もひとしおです。と申しますのは、そのうちの29年間は透析により生かされておりますので。

私が透析に入った1989年(平成元年)には、透析者の余命



は8年と言われていました。「あー160歳にもならず死ぬのか」と大いにがっかり致しました。ところが今やその3倍以上生きています。

感謝以外の何ものでもありません。日本の「医療制度」「東腎協」「全腎協」のご活躍、透析施設のスタッフの皆様、本当にありがとうございます。

かつては我が病院にも患者会があったのですが、会員の高齢化、お亡くなりになる方など、活動が困難になり5年程前に閉会してしまいました。現在は個人会員としてお仲間に入れて頂いています。よろしくお願いいたします。

八王子市地域腎友会 〜八王子古本まつり〜

村越京子
(八王子東町クリニック桑の実会)

今年5月開催された第16回八王子古本まつりには、2日目の4日から4日間参加。八腎会は第3回目からの参加で全日程参加が続きましたが、最近はなかなか会員の手伝いが集まりません。私は、ここ何回か参加しています。私のクリニックが会場の近くにあること



八腎会「ゆるゆるテント」販売ブース

もあり、最初はお願ひされての参加でした。さて、ここからはおまじりの簡単な説明です。このイベントは、他の地域で行われているものと違ったユニークなものです。古本の販売だけではなく、私たちが参加している「ゆるゆるテント」のようなブースがあったりする「文化の多様性」をねらった催しです。福祉と文化関連のブースである「ゆるゆるテント」の内容も、参加団体の自主性に任されています。八腎会では、岩崎事務局長の腎臓病ピアカウンセリング、会員・家族の手作り作品の販売などを行っています。透析時間の有効利用のために、ポータブルDVDプレイヤーの低価格での販売も行われ

毎回好評となっています。障害者割引もあります。それと、池谷匠八腎会会長がリーダーのブルースバンド「TAXI」による演奏も毎回のお楽しみとなっています。私は、八腎会のブースが透析患者にとっての居場所の一つとなることを願っています。さあ、次は10月の開催です。

第十三回川柳コンテスト

優人クリニック患者会 川柳係

井上健史・愛敬妙子

(優人クリニック患者会)

練馬区の優人クリニックで患者会による第十三回川柳コンテストが開催されました。

審査員は前回コンテストの成績優秀者11名で、57句の応募の中から投票の結果、次の句が優秀作品に選ばれました。川柳では一位から三位を天地人と呼び、五客、秀と続きます。

題「努力」

天 同居する嫁の長所を見る努

力 にくほママ

地 信じましょ努力は運を呼せ

る 木曾康子

人 台風も必ず行くよ透析に

大野滋美

五客 花火師の汗と努力がパツと散る 丸山みね子

五客 手相見に水難の相見抜かれる 喜三三

五客 化粧には時間をかけてその程度 まみ

五客 透析は我慢と努力の積み重ね 丸山みね子

五客 努力あり感動くれるアスリート 久保光子

秀 クラス会しらふで酔ったふりをする 五反田琴彦

一万歩今日も歩いてよく眠れ 広河聖都

楽になる努力次第の透析日 久保光子

朝寝して夜寝する間に透析寝 喜三三

天の神猛暑日減らす努力して プーおばさん

左手に手錠勤弁シャントあり 透析太郎

年金を増やす努力をしておくれ プーおばさん

接待のゴルフ僅差で負けてあげ 五反田琴彦

長時間透析耐えて寿命伸び 清水猛

運動は欠かさず朝の散歩から 清水猛

毎日の散歩続けて薬減る 毎日一万歩

生きること何をするにも日々努力 プーおばさん

古稀近し何を努力す生きるのみ 木曾康子

ダイエット努力の甲斐なくリバウンド 丸山みね子

山登り努力しないでロープウェイ まみ

登りきれ挫折も楽し参加だけ 鈴木徹

一步二歩三歩四歩とふやす日々 山口君子

思い出す努力努力の若い日 神野克之

女また力力で努力の字 広河聖都

● 東海病院&ひまわり会
日帰りバスツアー in 甲州路
山崎 弘
(東海病院ひまわり会)

6月25日(日) 梅雨空の中、院長先生、病院スタッフ、ひまわり会メンバー、送迎スタッフの総勢41名がバス1台、民間救急車両1台で「サクラランボ狩り」「信玄餅詰め放題」を目指して一路甲州路へ向けて出発しました。バスが出



花と幸せのテーマビレッジ・ハイジの村

発してからは小雨も上がり、例年の様にお酒、おつまみを配り、皆がお待ちかねの、カラオケが始まりバスの中は大いに盛り上がりしました。

最初の目的地は、サクラランボ狩りです。昼食前なので各自お腹と相談して、またカリウムに気を付けながらサクラランボを食べていました。昼食は、「花と幸せのテーマビレッジ・ハイジの村」でのスィス風バイキング(?)です。甲州名物「ほうとう」もあり皆さんお腹いっぱい食べていました。

午後は、信玄餅工場の見学と信玄餅詰め放題に挑戦です。ベニール袋に多い人は、18〜20個も詰めた人もいたようです。帰りのバス

では、農園からのサクラランボのお土産を配り、ジャンケン大会も多いに盛り上がり、残りのお酒を飲み干すまで飲んで、しみながら帰路につきました。

東腎協結成45周年 第7回記念大会

9月10日(日) 於・主婦会館(写真は表2)

ご来賓者名

- 東京都福祉保健局保健政策部 疾病対策課長 小林一司様
- 都民ファーストの会東京都議団 政調会長代行 木村基成様
- 都議会公明党 都議会厚生委員長 伊東興一様
- 東京都議会自由民主党 副幹事長 川松真一郎様
- 日本共産党東京都議会議員団 幹事長 大山ともこ様
- 都議会民進党 幹事長代行 山口 拓様
- 一般財団法人全国腎臓病協議会 会長 馬場 亨様
- 祝電
- 栃木県腎臓病患者友の会
- 群馬県腎臓病患者連絡協議会
- 茨城県腎臓病患者連絡協議会

石井虎二さんを偲んで

石井さん

あなたのことを忘れない！

東腎協理事 榊原靖夫

石井さん、あなたの訃報に接し茫然としています。振り返れば、長いお付き合いでした。東腎協の歴史、四十五年の三分の一のあたる十五年余も行動を共にさせていただきました。あなたの人となりや、あなたとの思い出を語れば尽きませんが、一言で言うなればあなたは私にとって、患者会活動の鑑の様な存在でした。

決してぶれることなく、愚直に患者会活動の正道を歩み続けられました。

私はいつも石井さんの生き方に感銘を受け、その様にありたいと願ってきました。

あなたはいつも温和で常に微笑みながら語りかける人でした。また、情熱と責任感に溢れる方でもありました。

東腎協の大きな課題である会員増大に繋がる、未組織施設への訪問、勧誘活動に於いては、その目覚ましい行動力と熱心さに私をはじめ多くの理事諸氏に大きな刺激を与えました。弁が達つ方では無かったですが、その行動と姿勢で患者会活動の原点や理念を示していただきました。

いつまでも思いは尽きませんが、懸命に走



り続けてくださった石井さんに感謝の心を捧げて結びとさせていただきます。
どうぞ安らかに眠りください。

東腎協の会員拡大に情熱を捧げた人

東腎協副会長 戸倉振一

石井虎二さんの突然の訃報に接し、驚きとともに痛惜の念でいっぱいです。

石井さんが東腎協の理事を2015年に退任した後は、地域腎友会の役員をお願いし、昨年までこれまで同様に特に変えることなく一緒に活動していました。今年になって地域腎友会の役員を退任したいというほど体調不良をきたしていたところに、骨折して入院したと聞き心配していましたが、退院すること無く帰らぬ人となってしまいました。

石井さんは、透析を始めた病院の患者会役員さんに全腎協・東腎協のこと、患者会の先輩たちが苦労して勝ち取った恵まれた透析医療制度、福祉制度などを知り、この先も患者会の必要性を直感し、すぐに入会したと聞いています。石井さんはとにかく実直な人柄で、誰からも信頼されていました。患者会に入つて2年目の2005年に患者会役員に熱望され東腎協の常任幹事に推薦されています。東腎協がNPO法人になってからは理事として2015年まで10年間ご活躍されました。石井さんは、このよき透析医療制度を維持し、後世に残さなければいけない。そのためには会員をもっと増し、活動の輪を大きくしなければという思いが人一倍強く、その情熱と行動力には本当に頭が下がる思いでした。東部ブロック長としてリーダーシップを発揮し、東部ブロック内の全ての患者会未組織施設を訪問し、患者会の大切さを訴えていき、今後の我々の会員拡大のための道筋を示してくれました。

石井さんが行ってきた活動に敬意を表すとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

石井虎二(いしい とらじ)平成29年7月28日逝去、享年76歳。平成13年60歳透析導入。平成19年NPO法人設立時理事。元東部ブロック長、元瑞江腎クリニック腎友会会長

リレー
エッセイ

透析になるきっかけ

私は、小さい頃は風邪を引くとよく扁桃腺を腫らしていました。小学校高学年になると、扁桃腺も腫れなくなつたので治療をせずほつといてしまいました。それが良くなかつたのか中学生になった時の学校での健康診断の尿検査で引っ掛かつてタンパク尿と血尿が少しずつ出ていたので泌尿器科の専門病院にかかってこれ以上悪くならないように気を付けていました。しかし、高校生になると徐々に腎臓が悪くなつて行き高校を卒業して働くようになって3年目の秋（平成2年）頃仕事があまりにも忙しすぎて治療を怠けていたら、急に尿量が増えたり体重が物凄く増えたり鼻血が止まらなくなつたりしてこれはマズイと思いつつも

通っている病院に行ったら、先生が何でもっと早く病院に来なかったもう少し遅かったらあなたは手遅れになっていただぞ物凄く怒られました。そこで直ぐに入院してシヤントを作つて透析を始めることになりました。それから早いもので透析を始めて今年の冬で27年になります。

腎友会に入るきっかけ

透析をするようやく透析に慣れた頃に病院の腎友会の役員の方が腎友会に入つてくれないかなと言われたので腎友会のこと良く聞いて納得して腎友会に入ることになりました。入つて直ぐの頃は、病院腎友会のことだけをやっていました。そのうち熊腎協から今度全腎協青年交流会に誰か参加してく

れないかと病院腎友会に連絡があり、私が熊本県代表として、全腎協青年交流会に参加することになりました。その後熊本に青年部が無かったので、熊腎協の役員の方から熊本にも青年部を作つてくれないかと私に要請があつたので知り合いの患者さん数人と一緒に青年部を立ち上げることにになりました。初代の青年部長をするはめになりました。私は、人前に立つて話すことは凄く苦手なただけど一生懸命の為に頑張りました。結局青年部長は1期で辞めることになったしまいましたけど。青年部長を辞めた後は病院の腎友会の代表幹事として県の会議に出たり県腎協の天草地区のブロック長として地区内の病院回りなどを東京に来るまでの間ずっとやっていました。

東京に来ることになった

平成18年1月に長年の闘病の末、母が他界し 平成27年7月に突然の病気で父が他界しました。父の葬儀の後、兄弟みんなでこれからどうするかを家族会議をした結果私を一人にするのは心配だから東京に住んでいる兄が、マンションが二部屋あるから空いている方に住んだらどうだろうと言った。私は余り東京には行きたくはなかった。天草で生まれ、天草で育ち、45年間も生活し親戚も友達も沢山いた天草から離れたくはなかったが心配も分かるので仕方なく東京に引っ越すことにしました。平成27年11月 天草から東京に引っ越ししてから兄しか知り合いがいなくて心細かったです。私が通院している病院の腎友会に入ろうと思ったけど、私の通院している病院には、腎友会が無かったので東腎協のホームページを見たら個人会員の募集をしていたので直ぐに申し込みをして東腎協に入ることにしました。最後に私はこれから東腎協の為に微力ながら頑張っていくつもりです。

松本 茂利さん

透析27年（47歳）

NPO 東腎協理事

個人会員



ナース通信

④除水のときの基準となる「ドライウェイト」



持田美佐子 (前列右側)

医療法人財団 健康文化会
小豆沢病院 透析室師長

●このコーナーでは、いつも身の回りのお世話をしている透析スタッフさんから、透析患者さんの日々の悩み、相談、等々にアドバイスをしてもらいます。スタッフさんは我々のパートナー。日常のチョットしたこと何でも聞いてみましょう。

人間の体に含まれる水分量は、本来、腎臓の働きにより適正に調節されています。しかし、腎不全患者さんではこのような腎臓の機能が喪失しているため、代わりに人工腎臓治療（血液透析など）で体の水分量を調節しなくてはなりません。尿が出なくなってしまうと腎不全患者さんの場合、不要な水分が体に蓄積してしまうようになります。人工腎臓治療でこの余分な水分を取り除く（除水）のですが、この時の基準になるのがドライウェイトです。

ドライウェイト（DW）って何？

透析患者さんが一番始めに覚える数字の一つに、ドライウェイト（DW）があります。

ドライウェイトは透析終了時点で、『体内に余分な水分が無い、目標体重』を指します。

ドライウェイトの決め方

ドライウェイトは、定期的に採血（栄養状態などの確認）や胸のレントゲンを行い決定します。

また、透析前・透析中・透析後の血圧が過度に変動しないか、透析中に筋肉のけいれん

（こむら返り等）が起こらないかどうか、併せて判断して決定していきます。そのためドライウェイトは常に一定ではなく適宜、変更します。

体重増加量に気を付けて

尿量が少ない或は全く無い透析患者さんの場合、水分摂取量に注意が必要です。水分を摂り過ぎると、心臓や血管への負担が増加し、血圧の上昇やむくみの原因になります。また、体重が増えすぎると透析での除水量が多くなり、身体への負担が多くなってしまいます。

透析間の体重増加の目安

透析間の体重増加の目安は、透析間が2日であればドライウェイトの5%以内。透析間が1日であればドライウェイトの3%以内、体重を抑えることが目標です。

例) 透析を月・水・金の週3日で、ドライウェイトが50.0kgの場合

透析間が2日の時、増加量は『2.5kg』が理想
→透析前の体重は52.5kg。
(50.0kg ÷ 100 × 5 = 2.5)

透析間が1日の時、増加量は『1.5kg』が理想
→透析前の体重は51.5kg。
(50.0kg ÷ 100 × 3 = 1.5)

体重管理は、塩分・水分の摂取量から

塩分の摂取には注意が必要です。

塩分を多く摂取することにより喉の渇きが助長され、たくさん水分を摂取してしまい、結果、体重が増えすぎてしまうからです。

また、たくさん水分を摂取してしまおうと、逆に身体が塩分を求めてしまい、塩分を摂取してしまいます。この悪循環により、身体に水分が溜まって体重が増えすぎてしまい、血管や心臓に過度な負担がかかり、血圧の上昇

などに繋がります。

自分の食生活を検証して

透析前に体重が増えすぎてしまった経験は誰にでもあることでしょう。その際、医師や看護師からは、『塩分・水分を摂り過ぎたでしょ?』なんてことを言われてしまったのではないのでしょうか?

そんな時こそ、過去、数日間の食事内容と、水分摂取量をノートなどに書き写してみましよう。各施設には、食事内容を書く専用の用

患者さんからはドライウェイトを変更すると、「もうこれ以上、太りたくない」・「こんなに痩せちゃって、大丈夫なの」などの声を耳にします。しかし、ドライウェイトが現時点での身体の状態に合っていない場合、身体にどのような影響が出るのでしょうか?

ドライウェイトがきつい	・筋肉のけいれん(こむら返りなど)が起きやすい ・血圧が低くなる ・透析後の疲労感が強い ・シャント閉塞の危険性	→ドライウェイトを上げる
適正なドライウェイト	・身体への負担が少なく、日常生活が送れる ・血圧が安定する ・合併症が起きにくい	→変更せず継続する
ドライウェイトがあまい	・血圧が高くなる ・身体(肺)に水が溜まり息苦しくなる可能性 ・手足にむくみが出る	→ドライウェイトを下げる

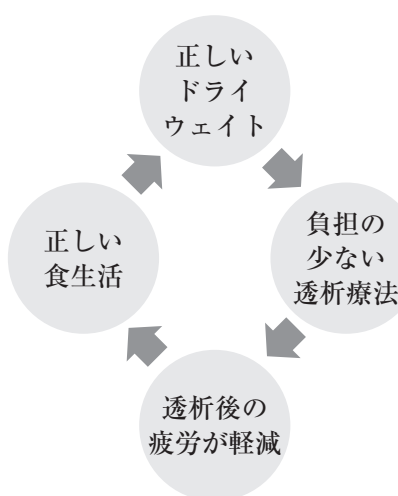
紙があると思いますので、看護師に聞いてみてください。

書き写したものを医師や看護師に提出し食事内容を一緒に検証すると、対策方法が見えてくることでしょう。管理栄養士に相談し、食材や調理方法をアドバイスしてもらう事も大切です。

季節や年齢が変わると食事内容や味付けが変化するので、食事内容の検証については、定期的に行いましょう。

より良い透析ライフを

血液透析療法は基本的に、週2〜3回、1回4〜5時間行います。1回1回の透析療法の負担を最小限に減らし、透析前後の日常生活への負担も最小限になるよう、ドライウェイトを知り、正しい食生活を送り、体重コントロールを適切に行っていきましょう。より負担が少ない透析ライフを皆さんが送れるように、願っています。



*上図は、負担がより少ない透析ライフのイメージ

私と東腎協 ②1



清水 猛さん (70)

優人クリニック腎友会 (透析22年)

◆ 透析導入の経緯

入社1年目(22歳)の健康診断で大学病院に検査入院となり、腎生検の結果慢性糸球体腎炎の診断が下りました。それから約10年後原疾患がIgA腎症と判明し、将来は透析になる可能性があることを告げられました。日々の血圧管理や厳しい食事管理にも関わらず腎臓機能は少しずつ低下し、平成7年透析導入となりました。48歳の働き盛りでした。

ドクターの指導で最初の透析方法は会社勤務継続に便利な腹膜透析(CAPD)を選択しました。開始から5年ほどは順調に経過していましたが、徐々に除水量が少なくなり透析液の濃度を高めてもあまり改善はみられませんでした。これまでの臨床結果から、CA

PDを長期間続けると腹膜にダメージを残す恐れがあるということで、5年7ヵ月で中止し平成13年に血液透析(HD)に移行しました。現在の透析法はオンラインHDFで5時間透析を週3回行っています。

◆ 私と東腎協とのかかわり

最初のクリニックでは患者会がありませんでしたので、東腎協や全腎協についての知識は皆無でした。さらに、透析導入時に障害者手帳や国民健康保険特定疾病療養受領証を交付して頂いたため、治療費の負担は全くありません。この恩恵が東腎協や全腎協の先輩会員の必死の努力の結果であることなど知る由もありませんでした。

私が東腎協の存在を知ったのは優人クリニ

ックで患者会へ入会し、東腎協の機関誌を受け取った時です。HD開始後8年経過していました。東腎協発行の「あゆみ」や「入会のしおり」を拝見することによって、「人口透析の自己負担ゼロを目指した命の闘い」を知ることができたのです。

優人クリニック患者会の会員数は2017年4月現在99名で入会率は5割強ですが、年々減少しているのが現状です。2014年会長を引き受け、東腎協の正会員となりました。患者会の活動としては、年2回の学習会、会報の発行、バス旅行、川柳大会などを実施しており、東腎協主催の大会や署名活動、臓器移植キャンペーンなどに積極的に参加しています。さらに、北部ブロック会議で知り合った他の腎友会の勉強会などに優人クリニック患者会として参加し、有益な情報を収集・展開しています。

◆ 今後の課題

透析環境の維持のためには会員増加が喫緊の課題です。優人クリニック患者会としては、クリニックとの協力を得て、新患者様への患者会案内配布を依頼するとともに、新年度の定期勧誘活動や患者会掲示板での広報活動の強化により会員数の増加を目指しています。優人クリニックでは最新・最善の透析医療を提供して頂いております。今後は東腎協大会において透析30年の表彰を目標に頑張るつもりです。

とうじんきょう 活動の まど

第37回臓器移植 普及推進キャンペーン

10月1日（日） 澄み切った秋空の下、上野恩賜公園と井の頭恩賜公園で第37回臓器移植推進キャンペーンが東京都と共催（井の頭公園は武蔵野市、三鷹市が後援）で行われた。

上野会場は10時から午前の部、13時から午後の部が開催され、主催の東腎協梅原秀孝会長と、共催の東京都福祉保健局疾病対策課小林一司課長の挨拶ののち、上野公園の入場者にティッシュ（臓器提供意思カード入「移植アンケート」を16患者会29名の参加で実施した。

井の頭会場では、11時から13時



上野恩賜公園の参加者

まで、東京医科大八王子医療センターの先生3名、看護師さん4名のご協力で、テント内で健康相談、血圧測定を行い、ティッシュ3000個と風船5000個を10患者会37名で配布した。さらに、今回は着ぐるみのパンダと白クマも用意したので、子供たちも大喜びだった。

東腎協としては、板橋区、江戸川区、江東区、八王子市のそれぞれの地域でもキャンペーンを企画しています。

今年は臓器移植法施行20周年を記念して、10月22日（日）には東



上野恩賜公園・アンケート後の風船まちの人達



井の頭恩賜公園で開会挨拶する梅原会長



井の頭恩賜公園の参加者



健康相談をする東京医科大八王子医療センター先生

京銀座で「グリーンリボンパレード」も企画されています。

2017多摩ブロック 個人会員交流会報告

板橋 俊司

(日野クリニック腎友会)

日時…2017年8月27日

10:00~12:00

場所…立川市女子総合センター

(立川アイム)

次第…

○開会あいさつ

梅原秀孝 東腎協会長

○NPO東腎協第11回総会報告

板橋俊司 東腎協事務局長

○2017年度多摩ブロックの活動方針

小野誠

東腎協副会長

(全体交流会)

①個人会員交流会のこれまでの活動

②自己紹介、東腎協・全腎協に

思うこと、入会の動機、他

③今後の活動予定

○閉会のあいさつ 小野誠

参加者…阿久津秀雄、関口新一、

米山幸弘、貴島光心(新)、林

光夫(新)、影山昭夫(新)、白

銀栄子(新)、梅原秀孝、小野誠、

村越京子、板橋俊司

報告…新会員(初参加者) 4名を
交え、11名で交流会は始まりまし
た。貴島さんは元優人大泉の会員
さんで、透析4年目。54歳で経営
する会社を後進に譲りリタイアし

て、現在はユニバーサル検定、ケ
アマネ2級の資格を取り、社会に
貢献できるように努力している
こと。影山さんは透析13年。母

親も透析していて、医療費の無料
に感謝し、自分たちが見本になら
なければと思っている。白銀さん

は立川市在住でまだCKDの段階。
不安の毎日、腎臓病患者の会を
知り入会した。林さんは透析1年

目。しかし通っているクリニック
はみんな患者会に関心がないと嘆
いている。第一回からの参加者、

阿久津さん(17年) 関口さん(13
年) 米山さん(23年) もそれぞれ
ご自身の透析体験と、何かしなく

てはと熱い思いを語られました。
全体交流会は、まだまだ話し足

りないうちに定刻となり、近くの
喫茶店で恒例となった二次会…。

8人の方が残られ14時近くまで懇
談は続きました。

個人会員の在り方が問われてい
る中で、すぐ患者会結成とはいき
ませんが、一人でも会に参加して、

何か行動しなければと思っている
会員さんが多いことに今更ながら
感銘を受けました。多摩ブロック

では、これからも継続的に個人会
員さんお交流会を開催して、会員

拡大の一端を担えればと思ってい
ます。

八王子市地域腎友会

第8回総会・

第15回透析サロン

斉藤 和巳

(八王子東町クリニック桑の実会)

8年目の総会終了後、透析サロ
ンが始まった。多摩地区唯一の成

人腎移植実施施設である東京医科
大学八王子医療センターは、4月

から腎内・腎外・移植部門を統合
した腎臓病センターを開設、腎臓

病の時間的経過に総合的に対処す
る。移植ネットワーク腎移植希望

登録業務も行う同センターから、
岩本整副センター長がゲストとし

て参加された。今回は、聴衆に自
分の視点から問題点を見てもらえ

るように、司会の岩崎事務局長が、
登録から移植へと進む時間的経過

に沿って論点となる質問を用意し
て先生に答えていただく方法をと

った。会場からも関連の質問が出
て、手続き上、医療上理解できて

いなかった点をいくつか浮き出し
た。その中で「16年の壁」につい

て特記する。登録手続きをしても、

数年後に献体腎移植ということとは

なく、平均16年以降のチャンスと
いうことになる。従って、高齢で

の移植が可能となった現代でも、
登録時の年齢を考慮する必要がある。

臓器移植の啓発運動に関して、
同行した池田コーデイナーか

らの提案があつた。移植希望登録
者は、家族、親族に積極的に臓器

移植ドナーの同意署名をしてもら
う。友人・知人にも拡散すればま

とまった数になる。
「隼より始めよ」。

北部ブロック

正会員会議報告書

三好かおり

(高松病院患者会)

日時…9月3日(日) 13時30~

15時30

会場…ルノアール巣鴨店

第2会議室

出席者…正会員13名、理事5名

プログラム

1. ブロック長挨拶

2. 東腎協・北部ブロック下期行

事予定説明

3. 各患者会近況報告及び情報交

換

○会員が増加しないのが悩み

・高齢者が多い



北部ブロック正会員会議

- ・ お金に余裕がない
 - ・ 生活保護から払えない
 - ・ 関心が無い
- 等の理由が挙げられました。
- カラオケ大会、バス旅行、誕生日のメッセージカード、名入り止血バンドの配布をしているところあり
- 災害時アンケートを行い団体から出来る事を文章で発行し患者会のアピール。
- 二十名程の入会者がいる患者会の取り組み方を知りたい。
- 議題にあった啓蒙方法を考えて行かなければいけない。
- 何の為というキャッチフレーズが必要。
- 危機感のある号外を出してほし

- 内容
1. 開会挨拶 中村東部ブロック長
 2. 参加者自己紹介
 3. 患者会未組織透析施設等との懇談の経過報告
 4. 訪問施設・解散患者会
 5. 東部ブロックの理事、正会員名簿の作成・配布について
 6. 今年度の東部ブロック活動について
 7. 第7回大会
 8. 臓器移植推進キャンペーン
 9. 11月 ブロック学習会

東部協東部ブロック正会員交流会

平成29年度

中村 博
(新葛友の会)

日時：平成29年7月30日(日)
13時～16時
場所：タワーホール船堀4階
403会議室

い。

(医療費が削られる事をもっとアピールして欲しい)

○長谷川問題でマスコミを通して謝るべきではないか。

等の声が聞かれました。



東部正会員会議

- 2月 ブロック患者家族交流会
 - 3月 ブロック第2回正会員交流会
 5. 各地域腎友会活動について
江戸川区腎友さつき会・葛飾腎友会・足立腎友会・江東腎友会
 6. 各患者会の活動・会員拡大の取組み状況について
 7. 東部協東部ブロックたよりに
 8. その他
- 戸倉副会長の司会で始まり、開会の挨拶で中村ブロック長から前ブロック長の瑞江腎クリニック腎友会会長の石井虎二さんが7月28日に逝去されたのを聞いて参加者全員起立して黙祷ご冥福をお祈り

しました。解散患者会に付きましては嬉泉ニール友会の解散した経緯を話しました。

東部ブロック名簿を同意されました理事正会員の名簿を配布しました。

各地域腎友会の活動報告、足立腎友会は議案集だけで欠席。

患者会の活動、会員拡大の取組み状況については、毎回同じ様な解答で各患者会で工夫をして拡大に専念しています。

東部協青年部スポーツ交流会

お知らせ

永見明子

(井の頭クリニック腎友会・青年部部長)

日時：11月19日(日)

18:30～20:00

場所：多摩障害者スポーツセンター体育館

電話：042-573-3811

住所：国立市富士見台2-1-1

交通案内：JR中央線「国立駅」

南口・JR南武線

「谷保駅」北口

(無料送迎バス運行あり)

いろいろなスポーツをしながら、楽しいひと時、仲間との交流を深

めませんか？

爽秋のなか、新たな出会いがま
つてくるかもしれません。

皆さま奮ってご参加ください！

関東ブロック

青年交流会inかながわ 報告書

永見明子

(井の頭クリニック腎友会)

日時：平成29年9月16日(土)

17日(日)

会場：マホロバ・マインズ三浦

(神奈川県三浦市)

参加者：小林正和・永見明子

台風が接近していることもあり、当初の予定では第2日目にグループ討論の結果の発表を行うこととしていたが、それを前倒しし討論時間を少し短めとして発表を行うことにした。

第1日目はグループ討論と懇親会があり、テーマはメインが1つ、サブテーマとして3つが設定された。

メインテーマ

「元氣な透析ライフについて」

課題1「仕事について」

課題2「将来の生活について」

課題3「青年部ができる社会貢献について」

小林は課題3「青年部ができる社会貢献について」、永見は課題2「将来の生活について」にそれぞれ所属して討論を行った。

それぞれのグループが活発な討論を行い、透析患者だからこそできること、逆に難しいことなどが意見として出され、課題ごとの発表を行った。

また討論後には当初予定には入っていなかった青年部長会議を開催し、その会議の内容及び決議を第2日目の最初に発表することになった。

その後、懇親会が行われ、席順をくじ引きとし、いろいろな都県の人々が交流し、またビンゴゲームもあり、和気あいあいとした雰囲気



青年部交流集会

気であった。

2日目は朝食後、青年部長会議の内容の発表を行い、10時30分頃には閉会となった。

天候には恵まれなかったが充実した交流会となった。しかしながら施設の選択などにおいて、バリアフリー等考慮すべき点も多く感じた。

講演

帝京大学板橋キャンパスにて

医学部医学科五年生四名

「患者会について」

東腎協理事 榎原靖夫

(NPO法人板橋腎友さくら会)

地域腎友会の「NPO法人板橋腎友さくら会」では「患者会活動」として初めての医学部の学生さんたちに「患者会について」と題して講演と懇談を行ってきました。

本年四月、帝京大学医療共通研究センター筒井先生より連絡があり「帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座」の学生に実習テーマ「難病患者・障害者の地域ケア」の学習の一環として「患者会」について当事者からのお話を伺いたいと依頼がありました。



帝京大学板橋キャンパス講演

8月24日(木)午後1時から約2時間「帝京大学板橋キャンパス」に於いて医学部医学科五年生4名に対し「患者会の目的・意義・活動内容」等につきお話をさせていただきました。さくら会の出席者は、榎原、古木、高橋(女性の患者さん)を一人と要望あり)の3名でした。

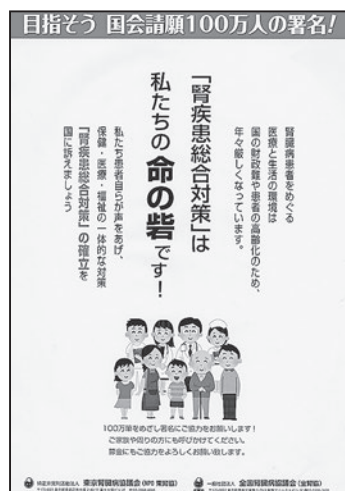
お話が終了後、筒井先生と4名の学生さんたちとの質疑応答と懇談を行い学生さんたちからは率直な質問がありました。

こちらからも将来ドクターになれる人達です。患者からの思いや、希望を申し述べました。学生さんたちが大変興味深く話を聞いてくれたのが印象的でした。

目指そう100万人の署名

第47次・国会請願署名運動

「腎疾患総合対策」は私達の「命の砦」です



今年も（一社）全腎協と日本難病・疾病団体協議会（J P A）の国会請願署名・募金運動に取り組むことになりました。

国会請願署名運動は、会員ひとり一人の意思を直接国会に訴えることのできる私達にとって最も重要な活動のひとつです。

毎年の署名・募金活動の取り組みが皆様には大変負担となっている事は重々承知しておりますが、私達の医療福祉を後退させないためにも、今後も継続していきますのでご協力の程お願い申し上げます。

同時に行う日本難病団体協議会（J P A）の「総合的難病対策の早期確立を要望する」国会請願署名・募金運動へのご協力も併せてよろしくお願い申し上げます。

署名用紙発送予定：10月中旬
締め切り：2018年1月末

○署名用紙は東腎協事務局までお送りください。

○募金は所定の用紙でお振り込みください。

不明な点は、東腎協事務局までお問い合わせください。

担当者：白坂・松山

電話：03—3944—4048

保有車両13台！ いつでも、どこでも送迎・介護いたします。 運転手さんを至急募集（勤務日・勤務時間要相談）



<移送サービス>運転手さん募集

通院、買い物、旅行、冠婚葬祭など、さまざまな用途にご利用ください。

車椅子の方も福祉車両多数あります。

（保有車両・福祉車両9台、普通車両4台）お気軽にお問い合わせください。

<訪問介護サービス>ヘルパーさん募集中！

ご利用者様とご家族の負担を減らし、安心してお過ごしいただける様に、介護サービスを提供しております。

介護保険外のサービスもご相談下さい。

担当直通：080-3204-0026(梅田)／090-3904-3386(小野崎)

NPO法人 通院・移送センタータンポポ・介護事業所タンポポ

お問い合わせ	電話：03-6751-7372	FAX	03-6751-7374
所在地	東京都練馬区豊玉北4-12-13 ノイメゾン桜台1F		
電話受付	9:00～17:00	定休日	無休

運転手さん募集中

平山城址腎クリニック

患者様の立場になった施設づくりに取り組む

私たち心施会グループは、患者様の声に耳を傾け寄り添い、病気だけでなくその心を癒す。そのような理念を共有し、医療を提供することを目標にしております。

昭和51年、当時腎不全医療を行う専門施設が少なく、居住地以外の駅まで通院をして透析治療を受けられている患者様が多々おられました。そんな患者様の負担を少しでも軽減すべく、地域の透析医療を担う存在として府中駅前に府中腎クリニックを腎臓専門の医療機関として開設したのが我々心施会グループの始まりです。その後も地域の皆様に支えら



平山城址腎クリニック玄関

れ八王子市に2施設（南大沢パオレ腎クリニック、八王子東町クリニック）を続けて開設し今日に至りました。

患者様から聞こえてくる声

一般的な外来通院と比べ、透析の患者様は2日に1度通院されるため我々医療スタッフとの距離は徐々に近くなっています。そのため透析施設は第二の自宅のような場所に感じられることがあります。透析は穿刺（透析開始）から返血（透析終了）まで1回3〜5時間程度かかるため、いかに透析中にリラックスできるかは透析患者様にとって重要なことだと思います。そんな時ふと「隣の方は暑そうだけど私のところは寒い」、「本を読むのに天井の照明がまぶしい」などの忌憚ないご意見・ご要望を頂くことがあります。そのような患者様から聞こえてくる声を、何とかしたいと考え抜いて開設したのがこの平山城址腎クリニックです。

入口から透析室まではほぼ直進でかつ外気



平山城址腎クリニック外観

が侵入することを防いだ風除け室を挟み、十分な広さを有した透析患者用待合室を整備しております。透析室内は従来の冷暖房に比べ、静かで直接肌に当たらない空調システムに加え、ベッドに横になった際に直接患者様の目に照明が入らないように、患者様自身で調光可能なダウンライトなど工夫し、ベッド間も十分な間隔（1・2m）とし、プライバシーの確保に努めました。又、透析室内の床はフルフラットを採用し、足腰の弱い方や車いすの方でも段差などなくベッドまで移動して、安心して透析を行うことができるようになりました。



明るい透析室専用待合室

更に一つの施設において透析治療に関するあらゆるニーズにお応えできるよう設備を整えています。当グループでこれまで培ってきた清潔な透析液を使用したHD、オンラインHDFなど最新の透析医療を提供はもちろんのこと、必要に応じシャント形成術や透視下・エコー下の経皮的血管拡張術（PTA）も当院で計画的に行えます。

又、屋上には貯水槽を用意しているので、断水があってもすぐに中断することはありません。更に停電の際も自家発電装置により電子カルテ等のデータ共有や通信手段が確保できるため安心して治療を行うことができます。

介護老人保健施設との連携

当グループが透析と並行して取り組んできたものが介護施設・福祉事業所です。介護老人保健施設高幡みさわの杜は、平成12年の介護保険制度実施に併せ日野市三沢にて開設しました。近年透析患者様の高齢化に伴い、要



ゆったりとしたフルフラット透析室

介護高齢者の中にも透析を必要とする患者様が増えています。当院ではこの特性を生かし、介護老人保健施設に入所し社会復帰を目指すべくリハビリに励みながらも透析治療を要する方々に対し、両施設の医師の連携による治療計画の元、同市内の近距離間を違和感なく行き来できる体制づくりを整備しております。

当グループでは透析患者様の高齢化・要介護化・独居の増加等に対して、特に通院困難な患者様を対象に通院の一助になれるよう送迎車を有しております。一方で全て送迎に頼ってしまうと体力が落ちてしまい、結果的に患者様のためにならないことも事実です。そのため透析日・非透析日に限らず、歩くことやラジオ体操などの運動を積極的にお勧めしております。

透析治療と栄養相談

良好で安定した透析生活を送るためには、患者様・御家族自身が食事への興味を持ち、理解されることが大事です。そこで当グループでは管理栄養士が医師の指示の元患者様のデータや栄養状態などを確認し、必要に応じて食事についての指導をさせていただいております。また、当院では患者様の個別指導ももちろんですが、患者様数名（十名以下）にお集まりいただき、集団で行う栄養教室も実施し、好評をいただいております。一緒に透析を受けている皆様の情報交換などの場にもなり、一人では難しいことも、仲間と一緒に乗り越えることもできるはずです。

また保存期の患者様についても、当院の腎臓専門医の外来指導に合わせて、腎機能障害の進行を遅らせるためにそれぞれの患者様個人の病態に合わせた食事療法が重要となるため、保存期食事療法についても指導させていただきます。

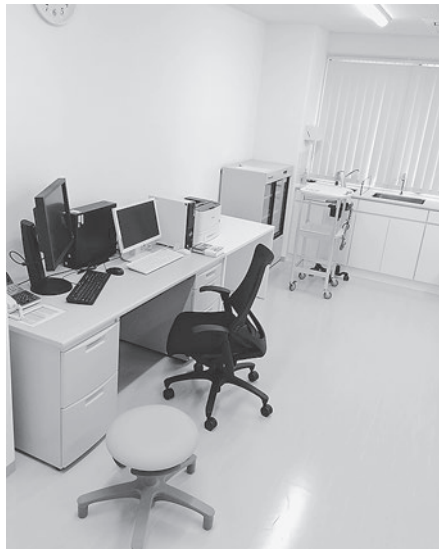
栄養相談も当グループの理念の元、個々の患者様のご希望と病態を良好に保つ方法についてお話をさせていただくことを大切にしております。

泌尿器科外来

当院の2階では内科および泌尿器科の一般



広々とした外来待合室



第一診察室

外来を行っています。内科は皆様よくご存じのとおりと思われますが、泌尿器科の領域はあまりご存じない方が多いのではないのでしょうか。近年ますますこの領域は重要になってきております。小児の頃から高齢に至るまで排尿に関する悩みはつきものです。男性ですと前立腺肥大症、前立腺がんが思い浮かびますが、男女を問わず排尿障害、夜間頻尿、尿失禁、排尿痛、血尿、尿路結石など意外と聞

いたことがある病名が並びます。当グループは以前より腎臓疾患を主体とし、泌尿器に関する領域も大病院と連携しつつ診療させていただいており、当院でも泌尿器科外来を開始しました。

現在の設備としては、各種尿検査を始め尿流量測定器、超音波診断装置、X線透視診断装置を設置しておりますのでお困りの際はご相談ください。

各委員会の設置

当グループにおきましては、透析医療に万全を期すための各委員会を設置し各施設に委員を配置しています。各委員会はそれぞれの指針に基づき活動を行い、日々安全な医療サービスの提供に努めております。尚、主な委員会は次のとおりです。①感染防止委員会、②医薬品安全管理委員会、③医療機器安全管理委員会、④事故防止委員会、⑤災害対策委員会、⑥コンピューター委員会 これらの委員会を通じ、安心安全の透析医療を提供していただけるように注力しております。日本の透析医療は世界でも有数の成績を誇り、その知識と技術は年々進化し複雑化しております。我々は常日頃から最新の知見を学び、技術を蓄え、皆さまに還元していくように心掛けています。これからも地域の皆様に愛され、必要とされるように精進してまいりますので、よろしく願いたします。

医療法人社団心施会

平山城址腎クリニック

1 F 人工透析内科 月・水・金（昼間）※夜間は順次
// 火・木・土（昼間）

2 F 内科・泌尿器科

診療科	診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
人工透析内科	昼間透析	○	○	○	○	○	○	—	○
内科	午前 09:00~12:00	○	○	○	○	○	—	—	—
泌尿器科	午後 13:00~17:00	—	○	—	—	—	○	—	—

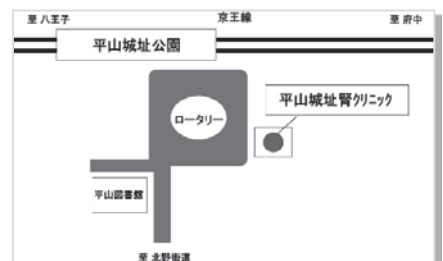
※受付は診療終了時間のそれぞれ30分前までとなります。

TEL:042-599-2311

〒191-0043 東京都日野市平山5-38-1

平山城址公園駅前ビル

京王線平山城址公園駅より徒歩1分


<http://www.shinshikai.or.jp>

事務局から

「ご寄付御礼」

扶桑薬品工業（株）
○東京第一支店様
ご寄付ありがとうございます

「青い鳥・ハガキご寄付御礼」

【患者会】

日野クリニックス腎友会
立川相互病院透析室希望会
羽村相互診療所たんぼの会
望星田無クリニックス友の会
松和患者会西新宿支部
松和患者会新宿南口支部
にこたま会

腎内科クリニック世田谷患者友の会

長久保ハナミズキ会

代々木病院腎友会

聖蹟さくら会

勝和なごみ会

東京健生病院サボテン会

大田病院腎友会

吉祥寺あさひ腎友会

西クリニックスひまわりの会

柳原健腎会

新小岩クリニックス友の会（船堀）

新中野フェニックス会

【個人会員・他】

木村ゆき様

特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会 賛助会員入会のお願い

1972年（昭和47年）11月19日、東京都腎臓病協議会（現、特定非営利活動法人東京腎臓病協議会）を結成しました。結成から44年を経過し、透析医療も格段に進歩し、40年を迎えている透析患者さんもいらっしゃる。

その一方で社会保障制度、医療費制度の削減が社会問題となっており、莫大な費用を要する透析医療も安心してはいられない状況です。これからも医療機関、各企業、患者団体と結束して活動することが大変重要と考えます。

私どもの「命と暮らし」を守る活動に賛同いただければ是非、賛助会員として団体の活動を支援していただきたく心よりお願い致します。

記

賛助会員会費：個人年額5,000円、
団体年額 1口10,000円／1口以上

※年1回名刺広告を機関誌「とうじんきょう」夏号に掲載させていただきます。



今後の活動予定

ご寄付ありがとうございます

編集後記

○透析治療の時間は、週3日、1日4時間で一ヶ月48時間です。1

11月26日（日）

東腎協第132回理事会（予定）

11月25～26日（土・日）

全腎協臨時総会（予定）

1月28日（日）

東腎協第133回理事会（予定）

1月27日～28日（土・日）

全腎協理事会（予定）

2月25日（日）

東腎協第134回理事会（予定）

3月3日～4日（土・日）

全腎協理事会（予定）

3月11日（日）

第29回腎臓病を考える都民の集い

3月15日（日）

第47次国会請願

3月25日（日）

東腎協第135回理事会（予定）

3月25日（日）

全腎協臨時総会（予定）

ヶ月720時間の内約7%が透析時間です。残りの時間を少し患者会に使用しては！更に「ワン・フォ・オール、オール・フォ・ワン」の精神で「国会請願署名運動」にも積極的に参加をお願い致します！

（工藤）

○ついに風邪をひいてしまった。気が付いたらもう秋、日々変わる寒暖の差になかなかついていけない。弱気にもなるが、腎臓病患者の運動をもっともと広げるために鼓舞する今日この頃です。

2018年度東京都予算要請で、現状の医療費助成制度は向こう一年は保証された。しかし、来年行われる診療報酬と介護報酬の改定

東京都腎臓移植組織適合性検査費（HLA 検査費）助成事業のご案内

①対象者

都内に住所を有し、人工透析療法を受けている慢性腎不全の方で、献腎移植を希望するため、公益社団法人日本臓器移植ネットワークへ登録する方（公益社団法人日本臓器移植ネットワークへの登録に必要な腎臓移植組織適合性検査費が一部助成されます）。

②助成額

腎臓移植組織適合性検査費用の一部（平成29年度については10000円とします。）

③書類提出及び問合せ先

東京都福祉保健局 保健政策部 疾病対策課 献血移植対策担当

電話 03-5320-4506 FAX 03-5388-1437

東京都と協定を締結している HLA検査センター	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	TEL03-3588-1111
	東京医科大学 八王子医療センター	TEL042-665-5611
	東京女子医科大学病院	TEL03-3353-8111
	東邦大学医療センター大森病院	TEL03-3762-4151
その他のHLA検査センター (都内及び近隣3県)	昭和大学病院	TEL03-3784-8000
	埼玉医科大学国際医療センター	TEL042-984-4111
	埼玉医科大学総合医療センター	TEL049-228-3400
	独立行政法人国立病院機構 千葉東病院	TEL043-261-5171
	東海大学医学部付属病院	TEL0463-93-1121
	北里大学病院	TEL042-778-8111
	公立大学法人横浜国立大学付属病院	TEL045-787-2800

事務局員募集

は我々にどう降りかかってくるのだろう。透析患者をめぐる医療環境悪化は絶対に阻止しなければならない。そのためには、強固な患者会を作らなければならないと決意を新たにした次第です。（板橋）

○資格経験は問わないが、パソコン、経理、編集などに関心がある

れば可

○勤務時間、待遇は要相談
○お問い合わせ

東腎協事務局（豊島区南大塚2
—40—11富士大塚ビル2F・事務局板橋まで）

〈事務局雑感〉

選挙なので各党の社会保障・医療福祉の財源問題に注目している。よく政策を吟味したい。「最終連

結利益が2兆円のトヨタは2009年から2013年の5年間、税金を払っていないかった」という事実を知る人は少ない。信じ難いことだが現行法では「適法」。しかし制度としてはいかがなものか。この「とうじんきょう」219号がお手許に届くころは総選挙の結果、天下の形勢は定まっているのだろうか、願わくば弱い者が泣くことのない社会へ。（白坂）

10月1日（日）第37回臓器移植普及推進キャンペーンご協力ありがとうございました。当日天気も良く、上野・井の頭恩賜公園とも無事開催できました。来年もご協力よろしく願います。10月11日より第47回国会請願署名簿を発送させていただきます。今年度も一筆でも多くご協力をお願いいたします（松山）

◎前号の訂正とお詫び

夏号「総会報告、事務局から」の記事に於いて患者会名称に誤りがありました。次の様に訂正してお詫び致します。

○誤…清湘会病院腎友会

○正…清湘会記念病院腎友会

表紙のことば



天野修一さん

（透析歴4年、82歳）

府中けやき会

伊勢佐木町 カツラ並木

珍しいカツラ並木の黄葉に魅かれて歩道のベンチで一休み。休みついでにスケッチブックを拡げる。通りの向う側のベンチにおばあさん二人。賑やかな話声が耳に入る。時々散歩ハイキングを楽しんでいるらしい、元気なものだ。

こちら50年前に流行った伊勢佐木町ブルースのメロディーなどを口ずさみながら絵筆を進める。2時間ほどでスケッチ完成。私の眼の先のベンチに腰掛けていたおじさん。まだ同じ姿勢で居眠りしている。